

社会環境生命科学専攻 総合社会医科学講座 法医学分野

Department of Legal Medicine



— 人もヒトも健やかに —

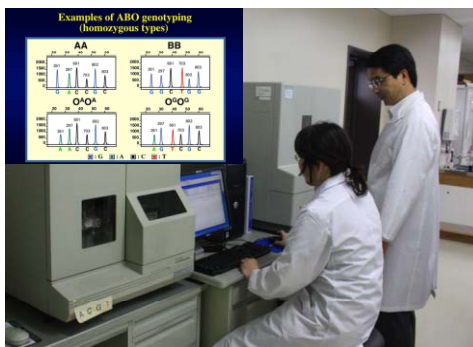


急性心筋梗塞

解剖とその後の検査で死因を調べ、さらに死の背景にある社会的要因の調査にも尽力し、その結果を生者に還元する



ガスクロマトグラフィーによる薬物分析のようす



ジェネティック・アナライザーを使用して、ABO式血液型の遺伝子型を検査しているところ

分野紹介

法医学には、法律上問題となるさまざまな医学的事項について研究し、これに解決を与えることを求められています。死体解剖は犯罪を立証するばかりではなく、犯罪を否定し、冤罪の防止にも役立っています。すなわち、法医学は人の社会的健康の維持に貢献しています。2009年5月からは裁判員制度も始まり、その重要性はますます高く認識されるようになってきています。一方、突然死や孤独死の解剖などを通じて、その原因や背景要因を明らかにし、予防のための方法や政策を提言することでヒトの生物学的健康の増進を図ることも、法医学の重要な役割です。法医学では、医学のみにとどまらず、薬学、歯科学、生物学などの周辺分野とも密接な連携を図り「人」と「ヒト」の健康をめざします。

主な研究テーマ

- 新しい肉眼診断法の開発
- ミオグロビンの法医診断への応用
- 乳幼児突然死に関する研究
- 死後経過時間推定法の確立
- 新規DNA多型分析法の開発とその法医実務への応用
- マイクロRNA検査法の法医学への応用
- 死後の薬毒物の体内濃度分布の変化
- 薬毒物分析法の新規開発
- 法医公衆衛生学的研究

連絡先／岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 法医学（宮石 智）

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

tel. 086-235-7201 fax.086-235-7201

E-mail: houigaku@md.okayama-u.ac.jp